

# インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ウラガミゼミ
神奈川大学	経済学部	浦上ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ウラガミゼミチームエー	フリガナ) ワタナベ カイト	7	無	
浦上ゼミチーム A	渡邊 開斗			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)
無し

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)
もったいないを減らして ~食品ロス問題から考える今私たちにできる事とは~

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

近年問題になっている食品ロスは今年の 5 月に公布された「食品ロス削減推進法」や、商慣習の改善、自治体の活動等、行政や事業者が食品ロスの削減に取り組み年々削減できているが、消費者がどのくらい意識し行動をしているのか。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

1/3ルールと言った商慣習などにより、近年問題になっている食品ロスの問題は今年の 5 月に公布された「食品ロス削減推進法」により「国や事業者が食品ロスの削減について積極的に取り組む責務がある。」とある。しかし、罰則等が規定されておらず、食品ロス削減推進法が食品ロスの解決に導けるのか。

### 3. 研究テーマの課題

食品ロスは年々減っており、認知度も高まっているが、実際、消費者は商品購入時に賞味期限の長いものを選ぶことが多い。また、今年に公布された「食品ロス削減推進法」は国や自治体、事業者などに責務があるとして罰則等がないので、食品ロスの削減に繋がるのか。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

京都市で行われているスーパーの POP 広告や啓発ポスターの活動を他の地方自治体へ広めて行くことや、一部企業が行なっている 1/2 ルールを多くの企業で採用されるよう、食品ロス削減推進法をより強いものにして行く。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

日本最大手のフードバンクであるセカンドハーベストへの現状の聞き取り調査。

### 6. 結果や今後の取り組み

食品ロスについて知っていても、商品を購入する際に賞味期限の長いものを購入する消費者が多いので京都市のスーパーの取り組みを全国に広げて行く必要があることや、1/3 ルールといった商慣習の見直し。

### 7. 参考文献

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/efforts/pdf/effort\\_190412\\_0003.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/pdf/effort_190412_0003.pdf)（消費者庁アンケート）（閲覧 2019.9.24）

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/education/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/)（消費者庁）（閲覧 2019.9.24）

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/190412.html>（農林水産省）（閲覧 2019.9.24）

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/promote/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/promote/)（食品ロス削減推進法）（閲覧 2019.9.24）

<http://kyoto-kogomi.net/about2r/>（こごみねっと）（閲覧 2019.9.24）

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/case/pdf/case\\_190403\\_0003.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/case/pdf/case_190403_0003.pdf)（消費者庁）（閲覧 2019.9.25）

<https://news.yahoo.co.jp/byline/iderumi/20170530-00071487/>（京都市の義務化）（閲覧 2019.9.25）

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP

マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**